

四條畷市教育委員会ニュース

「地域とともにある学校づくり」

○「四條畷小学校日曜参観とわくわく広場」



内容：

- ・四條畷小学校日曜参観とわくわく広場
- ・小中連携で「使える英語プロジェクト授業研究会」
- ・奈良市小中一貫教育研究会に参加して
- ・教育フォーラム2013の開催

今、少子化の進行、地域のコミュニティの弱体化や核家族化の進行する中で「子どもの豊かな学びを創造し、地域の絆をつなぐ～地域とともにある学校づくり～」が求められています。

その中で、四條畷市においてはこの2学期、多くの学校におきまして児童生徒の健全育成を目的に、つながりをより確かなものにするため、青少年指導員、PTA、おやじの会、学校安全協議会をはじめ地域の皆さんが、子どもたちを中心にして、みんなの手で見守り、育てようと献身的な協力のもと、さまざまな取組みが実施されてきました。

去る11月18日(日)四條畷小学校では、日曜参観(1・2時限目)に引き続き、「わくわく広場・模擬店等」が開催され、親子で一緒になって作って遊ぶ楽しい活動が繰り広げられました。手作り遊びでは「スライムづくり」「クリスマスでモビール」「モールストラップ」「めっちゃ飛ぶ飛行機」「さそりの標本」。

遊びの広場では「ストラックアウト」「ウォーリーを探せ」「空き缶積み」「輪投げ」「1円玉落とし」「ナインルーフス」「豆つかみ」「スーパーボールすくい」「ヨーヨー釣り」(おかやま幼稚園出店)。



お父さんと一緒に「サソリの標本」づくり やさしく教えてもらったよ



モールストラップづくり



おやじの会による「焼きそば」

模擬店ではおやじの会はじめPTAの皆さんや焼きそば、うどんなど子どもたちが喜びそうな出店とバザーも大にぎわい。また、四條畷市農業研究クラブ連絡協議会の皆さんによる地元の野菜販売と、四條畷市立保健センターの職員による食育コーナーでは着ぐるみ「なわてレンジャー」とともに食について身近に考える活動と、日本赤十字による献血に多くの方が参加されていました。



地産地消の野菜販売



青少年指導員さんも協力



四條畷市立保健センターの食育コーナー



なわてレンジャーじゃがまるくん

○四條畷中学校区小中連携で「使える英語プロジェクト授業研究会」

今年度から全国の小学校5・6年で外国語活動(英語)の学習が始まっています
この学習は、総合的な学習のうち週1時間を使って、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむことで、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成していくことがねら

いになっています。

四條畷市では、各中学校に配置されているALT（英語指導助手）が校区の小学校に出向き、担任と一緒に指導をおこなっています。また、小学校と中学校の先生方が互いに出向き英語指導の授業力を向上させるために、授業を公開し合って研修会も積極的に行われています。英語の専門的なスキルの獲得と教師主導型授業から児童生徒の活動する場面ができるだけ多く確保される授業への転換を求めて、パソコンを使っての授業分析（ST分析）も行われています。聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどの言語活動をとおしてコミュニケーション能力の基礎を養うようすすめられています。



四條畷小学校外国語活動



忍ヶ丘小学校外国語活動



四條畷中学校英語授業研究会



パソコンで授業分析（ST分析）

四條畷中学校・四條畷小学校・忍ヶ丘小学校では、英語・外国語活動の授業について小中連携を図りながら、合同の授業研究会が実施されてきました。大阪府教育委員会の指導主事の指導助言にもとづき、それぞれの学校で実施されてきた授業分析（ST分析）結果をもとに、児童生徒の学習活動がより活発に行われていたかの観点で、熱心に意見が交わされていました。



四條畷中学校・四條畷小学校・忍ヶ丘小学校合同で英語・外国語活動の授業研究会がもたれました。



○奈良市小中一貫教育研究発表会に参加しました

昨年から文部科学省の中央教育審議会初等中等教育分科会の「学校段階間の連携・接続等に関する作業部会」において討議が進められ、この6月に「小中連携、一貫教育に関する主な意見等の整理」が示されました。その中で、学校における児童生徒の学習指導上、生徒指導上の様々な課題について、従前より教職員はじめ関係者の努力により、各学校単位で解決を図るとともに、複数の学校間で連携し、課題解決も図られてきました。少子化の進行や情報化の進展等、児童生徒を取り巻く社会の状況が様々に変化中、児童生徒に関する課題が多様化、複雑化してきていることを受け、学校においては、複数の小中学校間で連携して課題解決にあたることにより一層求められています。

奈良市においては、平成21年度「奈良市教育ビジョン」において幼小連携・小中一貫教育を推進されています。11月10日（土）施設一体型小中一貫校・富雄第三中学校（平成23年4月開校）において9年間の連続した学びの中で「確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成」について研究発表が行われました。特に「小中一貫教育でつくる魅力ある学校一言語活動の充実を核とした学力向上」をテーマに「魅力ある教育活動」（小学校と中学校の教員の協働による授業の創造）「魅力ある教師」（確かな指導力、教育に対する情熱を持った教師）「魅力ある地域」（学校を核とした地域コミュニティの活性化）の三つを基盤とした取り組み内容が発表されました。



全国から多くの参観者がみえていました。「小中一貫教育の理念」がこれからの教育制度の大きな変革をもたらす期待感であふれていました。

四條畷市教育フォーラム 2013 を開催します

平成 25 年 2 月 2 日 (土) 13:00 受付 総合体育館

「学校・家庭・地域が一体となり、四條畷市の子どもたちの確かな育ちを築くため、学校の果たす役割は何か」

今年度、初めての教育フォーラムを開催することができました。西中校区の 3 校がそれぞれの学校の課題に真正面から向き合い、一体となって取組んできた教育実践をここに発表することができました。

- 「子どもを大切にすること」
- 「子どもの力を信じること」
- 「子どもの力を引き出すこと」

全教職員それが分かりかけてきた今、志水宏吉先生を交えて、明日の四條畷の教育と、学校・家庭・地域のそれぞれの役割について考えましょう。

多数のお越しをお待ちしています

内容紹介

・四條畷西中校区 3 校の実践発表「チャレンジ！西中校区」



西中校内授業研究の様子です。全員が研究授業を実施し外部にも公開。4 人の班編成で学び合い、家庭科も協同作業。パソコンで ST 分析

四條畷西中では、協同学習で授業改善。班作りから学び合い、学校全体で取組んできました。

くすのき小学校では、基礎的・基本的な学力の徹底。その具体的な取組みは？

岡部小学校では、西中へ送り出す子どもたちに確かな学力とともに学び高め合う取組みは？

・講演「学力を育てる」 子どもの笑顔が生まれる学校づくりは？ 大阪大学大学院教授 志水宏吉先生が来られます！

志水 宏吉教授 略歴

- ◇ 1959 年 兵庫県の生まれ
- ◇ 1981 年 東京大学教育学部卒業 専攻：教育社会学
- ◇ 1986 年 大阪大学人間科学部助手
- ◇ 1988 年 大阪教育大学教育学部講師
- ◇ 1994 年 大阪教育大学教育学部助教授
- ◇ 1996 年 東京大学大学院教育学研究科助教授
- ◇ 2001 年 東京大学教育学研究科博士修了
- ◇ 2003 年 大阪大学大学院人間科学研究科助教授
- ◇ 2004 年 大阪大学大学院人間科学研究科教授

所属学会 日本教育社会学会 日本カリキュラム学会 日本教育学会

著書 「格差を超える学校づくり 関西の挑戦」(大阪大学出版会) 他、多数



・パネルディスカッション「確かな学力の定着に向けて」

志水宏吉先生を交えて、これからの四條畷市の教育について考えます。

四條畷市教育フォーラム 2013

「子どもたちに確かな学力を」

平成 25 年 2 月 2 日 (土) 13:00 受付
四條畷市立総合体育館サンアリーナ 25
多目的室 (308 席)

幼・小・中学校園教職員、市職員、保護者、地域関係者どなたでも参加できます。

内容

- 実践発表「チャレンジ！西中校区」13:35～14:05
四條畷西中・くすのき小・岡部小
- 講演「学力を育てる」14:05～14:50
志水 宏吉さん (大阪大学大学院教授)
- パネルディスカッション
「確かな学力の定着に向けて」15:00～16:30
パネリスト 志水宏吉さん (大阪大学大学院教授)
古谷彰悟さん (四條畷西中学校教諭)
金子 瑛さん (岡部小学校教諭)
花岡 純さん (くすのき小学校首席)
羽森清司さん (四條畷南小学校長)
森田政己さん (四條畷中学校長)
コーディネータ 河江文代さん (市教委上席主幹)

